

ごみ処理・リサイクルに関する事業者アンケート調査結果

【 アンケートについて 】

- ・ 目 的 : 事業系廃棄物に関する基礎データ収集
- ・ 調査方法 : 室蘭商工会議所会報誌「かいぎしょ情報 9 月号」に折り込み
- ・ 調査期間 : 令和 2 年 9 月 7 日～令和 2 年 9 月 30 日

【 回答状況 】

- ・ 対象者数 : 1780 事業者
- ・ 回答数 : 49 事業者
- ・ 回答率 : 2.8%

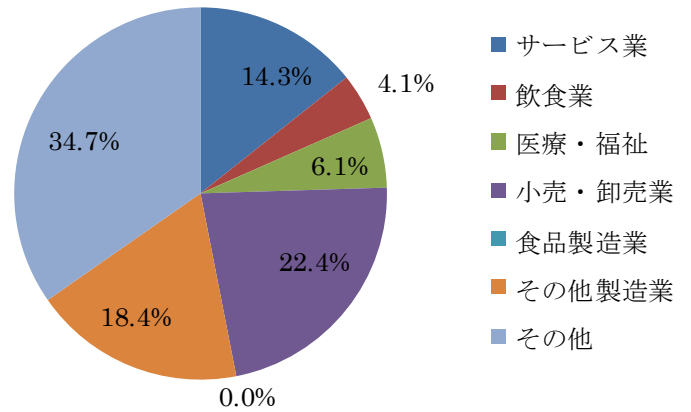
【 本アンケートの回答数について 】

- ・ 回答率が低く適切なサンプリング数には至らないが、事業系廃棄物に係る意見等が多数あることから、参考として取りまとめを行った。
- ・ 回答率が低い要因としては設問が多く回答が煩雑なことも考えられるが、事業者の廃棄物減量に対する意識が低いことも想定されるため、今後も事業者に対する廃棄物の減量に関する周知啓発が必要であると考察する。

1. 基本情報

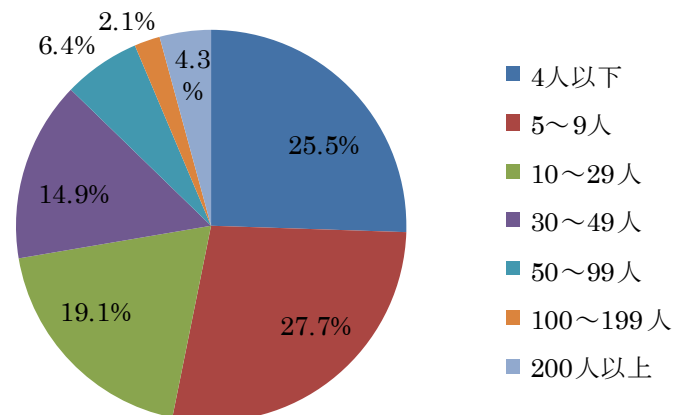
○ 業種

回答項目	回答数	割合 (%)
サービス業	7	14.3%
飲食業	2	4.1%
医療・福祉	3	6.1%
小売・卸売業	11	22.4%
食品製造業	0	0.0%
その他製造業	9	18.4%
その他	17	34.7%
合計	49	100%



○ 従業員数

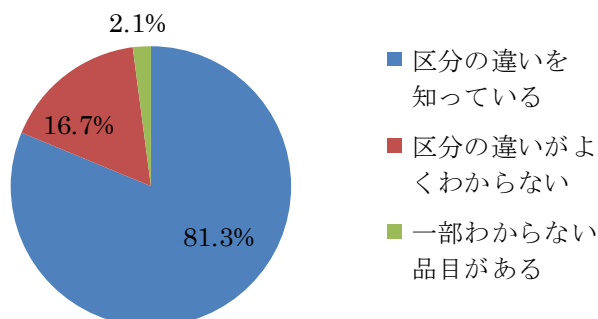
回答項目	回答数	割合 (%)
4人以下	12	25.5%
5～9人	13	27.7%
10～29人	9	19.1%
30～49人	7	14.9%
50～99人	3	6.4%
100～199人	1	2.1%
200人以上	2	4.3%
合計	47	100%



2. 事業系廃棄物の排出状況について

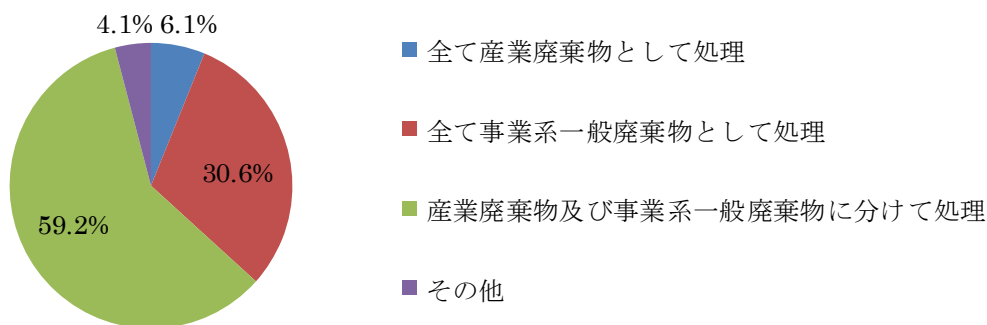
○産業廃棄物と事業系一般廃棄物の区分についてご回答ください。

回答項目	回答数	割合 (%)
区分の違いを知っている	39	81.3%
区分の違いがよくわからない	8	16.7%
一部わからない品目がある	1	2.1%
合計	48	100%



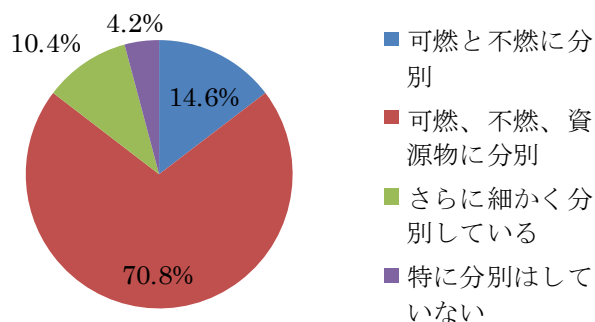
○貴事業所でのごみの分別についてご回答ください。

ごみの分別	回答数	割合 (%)
全て産業廃棄物として処理	3	6.1%
全て事業系一般廃棄物として処理	15	30.6%
産業廃棄物及び事業系一般廃棄物に分けて処理	29	59.2%
その他	2	4.1%
合計	49	100%



○貴事業所でのごみの分別区分についてご回答ください。

回答項目	回答数	割合 (%)
可燃と不燃に分別	7	14.6%
可燃、不燃、資源物に分別	34	70.8%
さらに細かく分別している	5	10.4%
特に分別はしていない	2	4.2%
合計	48	100%



○貴事業所から排出されるごみ量と種類についてご回答ください。(有効回答のみ記載)

業種	産業廃棄物の量 (t/年)	産業廃棄物の種類	事業系一般廃棄物の量 (t/年)	事業系一般廃棄物の種類
サービス業			6	空き缶、ペットボトル、紙類、プラスチック
サービス業			0.04	紙
サービス業			6	
サービス業	6	食べもの、プラスチック、ガーデン草	6	食べもの、プラスチック、ガーデン草
サービス業	1.2	金属類	3.6	
飲食業			24	調理残飯、食べ残し、容器類、缶、ビン等
医療・福祉			1	調理残渣、食べ残し、紙類、空き缶、ペットボトル、プラスチック、ダンボール等
医療・福祉	14.4	紙類、プラスチック類、他	24	紙類、プラスチック類、他
医療・福祉	180	医療材料、ガラス類、乾電池	480	紙類、プラスチック類、調理残渣
小売・卸売業	24	廃油、廃プラスチック、金属くず等	20.4	紙類、空き缶、ペットボトル
小売・卸売業			1.2	紙類、プラスチック、木くず
小売・卸売業	1.2	紙、金属くず、プラスチック		
小売・卸売業	1	石油ストーブ、冷凍庫	1.5	ダンボール、プラスチック、金属類
小売・卸売業			1	紙類、ダンボール、プラスチック
小売・卸売業			1	ポリ袋、化粧品使用済空プラ等
小売・卸売業			1.2	ダンボール プラスチックゴミ
その他製造業	69.6	紙くず		
その他製造業	3	金属類、プラスチック類、ファイバー類	2.5	紙類、布類、ダンボール
その他製造業			3	紙類、ペットボトル、プラスチック類等
その他製造業	18	汚泥、金属屑、廃油、廃酸、廃プラ、木くず、等	14.4	紙ごみ、段ボール、食べ残し、プラスチック、ペットボトル
その他製造業	7	廃プラ・鋳さい・木くず	1	プラ・紙類・食べ残し
その他製造業	1.2	空き缶、ペットボトル、紙類、ダンボール、プラスチック類、金属類、木材	0.24	食べ残し、紙類
運送業			24	空き缶、ペットボトル、ダンボール
建設業	290	コンクリート他	10	調理残渣、弁当入れ物、空き缶、ペットボトル、紙類、ダンボール、プラスチック類
建設業	1	建設廃材、ダンボール、ボード類		
建設業	0.12	金属類、木くず	0.024	紙類、空き缶、ペットボトル
建設業	30	廃プラ、がれき	5	紙ゴミ
建設業	9000	コンクリートがら		紙類、プラスチック類、ダンボール
建設業(管工事)		登別市アールアンドイーにて処理	4.32	空き缶、ペットボトル、紙類、ダンボール
建築板金業	18	金属類、木くず		
倉庫業	2.4	金属、プラスチック、木	1.2	紙、空き缶
その他(行政サービス)			6	紙類・プラスチック類
特別管理産業廃棄物処理業	0.4	ガラス、金属類、廃プラ類	3.7	紙類、段ボール、ペットボトル
不動産賃貸業			12	文書、梱包材(ダンボール等)、木くず
運輸業	2	金属類	3	紙類、ダンボール、プラスチック類、空き缶、ペットボトル
海上交通運輸業	0.6	オイル、金属類、ペンキ	2.4	紙類、ペットボトル、空き缶、空き容器

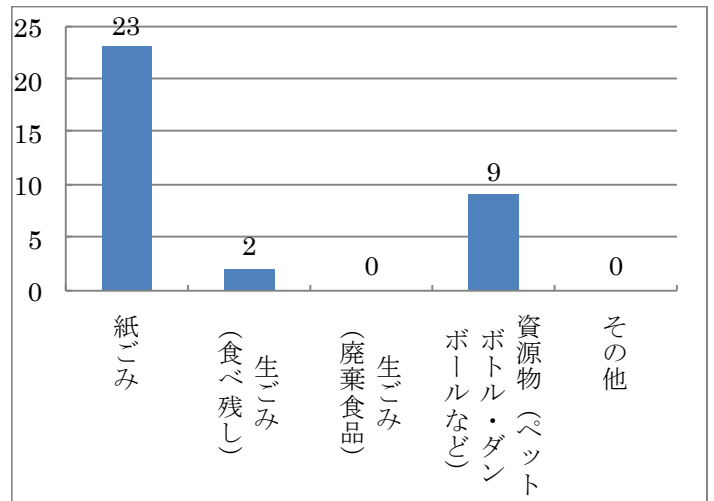
3. 減量に向けた取組について

○貴事業所で実施または予定しているごみの減量方法があればご回答ください。（回答を抜粋して記載）

- ・紙類の有効利用（裏表印刷・ミスコピーの裏紙使用等）（同様回答外4件）
- ・古紙類のリサイクル（古紙回収業者への引き渡しを行う等）（同様回答外6件）
- ・ペーパーレスの推進（同様回答外1件）
- ・空き缶・空きびんのリサイクル（同様回答外1件）
- ・コーヒーサーバーの導入による缶やペットボトルの削減

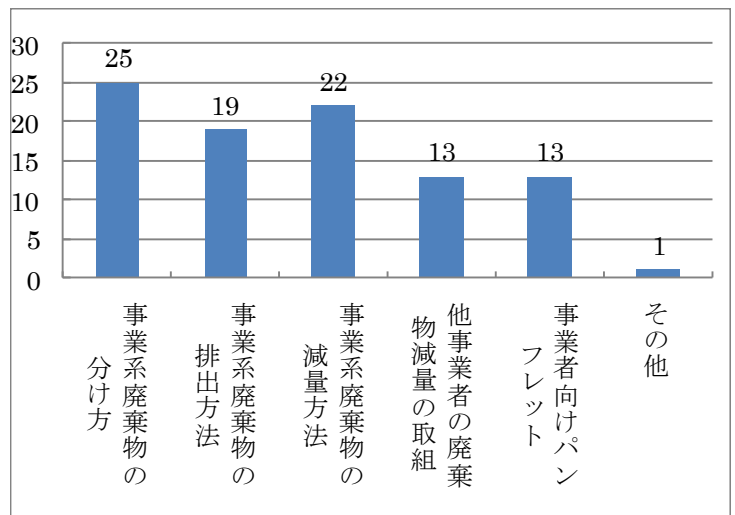
○貴事業所で行うごみのうち減量できそうなものがあればご回答ください。

- ・回答の多数が「紙ごみ」であり、「紙ごみ」の減量やリサイクルについては多くの事業所で取り組みやすいと考えられる。
- ・生ごみについては2件と少ない結果となった。飲食業及び、食品製造業からの回答が少なかったことが要因として考えられるが、飲食業を営む業者については、食中毒の問題等も考慮し慎重な対応が求められる。



○室蘭市ホームページに「事業者向け廃棄物について」のページを掲載する際にどのような情報があると利用しやすくなりますか。（複数回答あり）

- ・約半数の事業者から「事業系廃棄物の分け方」との回答がなされた。
- ・「事業系廃棄物の減量方法」についても約45%回答があったことから、有効な廃棄物の減量方法を提示すれば効果は期待できると考えられる。



○減量に向けて室蘭市で実施してもらいたい取組があればご回答ください。(回答を抜粋して記載)

- ・製造販売業者に過剰包装をなくしてもらいたい。
- ・松山市のHPに「ごみ分別はやわかり帳（事業者用）」がありました。室蘭市の状況に合わせた同様の冊子があれば、誰でもわかりやすく適切な分別ができるのではと思います。

4. 自由記入

○事業系廃棄物に関して意見などがありましたらご自由にご記入ください。(回答を抜粋して記載)

- ・ゴミコスト増大は現焼却場の能力低下も原因の一つでしょうから、今後新設する場合は専門的な見地から十分検討して失敗の無いように願います。
- ・ゴミの料金はもっと上げるべき。今の2倍か3倍くらいに。
- ・排出の状況を見ていると、わからなければ混合廃棄物とする傾向があるようです。適切な分別には具体的な例示が必要なようです。また、一部分が金属など簡単に分別できないごみの判断についても明示していただきたい。
- ・事業系廃棄物の減量は家庭系と事業系の処理費を同じでなく事業系の処理費の大幅UPを考えなければと考えます。